学校番号	1016

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	生活書道	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自作成教材等を使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

入学時に行った芸術科目の選択履修とは無関係に自由に選択履修することができる学校設定科目として設けたのが「生活書道」です。
本校卒業後、みなさんの進路は様々ですが、社会人として歩んでいかなければなりません。
高校生であれば『知りませんでした。』で通用するかもしれないことが社会人となれば通用しないのです。社会人生活で必要な一般常識を学ぶと同時に、言葉や文字を自身の手で書くための技術とその考え方を学んでもらい、これからの人生を歩んで行ってほしいと思っています。
気持ちをしっかりと前向きに持って授業に参加してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・書の表現や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている
・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている
【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	・書き言葉として文字を「正確に・整えて・場面に合った」状態で書きこなす ・適切な筆記用具を選択して使いこなす ・『冠婚葬祭』などを中心とした社会生活に必要な手書き文字による記入、作成を適切な用具・用材を選択して実行することができる ・知識を確実に身に付けるための努力を行っている	・学んだ知識や技能を適切に組み合わせ、礼儀を弁え、『ＴＰＯ』に適った文章や用語による表現を行うと同時に、用途や目的にふさわしい書字表現ができる ・知識を身に付けることの重要性を理解し、維持向上する方法を実践している	・日常生活の中で使う手書き文字の効果とその良さを味わい、様々な社会生活の場面において自己と他者の関係を理解して活用することができる ・自分らしさを効果的に手書き文字表現に取り入れて相互理解を深める契機を作り出すことができる ・知識を活用することを実践し、これを学習面に活用している
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	学(c)
4 ・ 5 月	はじめに	オリエンテーション 授業の進め方 準備するもの 基礎・基本の確認 用具・用材の説明	a:第２回目授業以降で必要となる用品などを持参し、配布資料や返却提出物を適切に整理・保管することを通じて継続的に取り組むことの大切さを理解することができている b:基礎・基本とすることがらの理解と確認を受けて生徒自身の取り組みに生かすことができている c:自身の癖とその短所についての考察を行い、その改善に努めることができている	記録シート 振り返り記入	記録シート 振り返り記入	観察 記録シート 振り返り記入
	書写の基礎確認	【 小テスト 試行 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源 終了後、資料等配布・説明 配付資料 ①の正解解答 ②の正解解答 ③の正解解答 ④として補助資料 字源の楷書が平仮名に至るまでの草体化(簡略化)を示したもの　④を併せて学習し①と③の理解を図る	a:①と②は誤って書いていないか（国語科「書写」の既習事項） b:③平仮名字源となった文字を正確に理解できているか。また、字源の草書体がさらに草体化されて平仮名に至るという過程を理解できているか。 c:①～③を通じてケアレスミスをしない注意と工夫が必要（単純なテストに向けた努力が必要）	①～③の得点	① ～ ③の振り返り	観察 今後の努力目標の設定
6・7月	文字単体～1行	数字(漢数字と算用数字) 漢字の言葉(1・2文字) 現住所と名前の記入(はがき・封筒・芳名録など) 書字の姿勢	a:日常生活で書く場合の正確性を有しているか b:画数と文字の大きさを考慮することが出来ているか c:限定されたところに適切な大きさと中心線を意識して書くことが出来ているか	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物

	語句・文章書写	書式の違い(縦書きと横書き) 適切な文字の大きさと用具の使い方(各種の便せん・罫紙) 筆記用具の使いこなし方(筆ペン・鉛筆・ボールペンなど)	a:国語表記に伴う注意点を理解し、適切に表現することが出来ているか b:筆記用具の違いを理解し、それぞれの特性を理解して使いこなすことが出来ているか c:適切な文字の大きさを考慮し、読みやすくわかりやすい書き方を実現することが出来ているか	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物
	書写の基礎確認	【 小テスト 第1回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a:小テストの採点結果を踏まえ、試行①～③との比較ができている b：第１回と試行回との比較を行い、誤答状況の冷静な分析と次への課題が理解できている c：とくにケアレスミスについて採点結果を踏まえ生徒自身が自己の癖や性格を改善することが目標として設定できている	小テスト①～③の得点	小テスト①～③の振り返り記入	観察
	手紙・贈答用語	手紙の基本知識と実践(はがきを含む) 『冠婚葬祭』に伴う贈答の基本知識と実践(金封・熨斗紙など)	a:手紙とはがき、冠婚葬祭で使われる用語について理解しているか b:はがき・封筒、金封・熨斗紙などへの基本的な記入の仕方を理解した上で送付先受取人や贈呈する相手に対する礼儀を弁えつつ、親愛の情を失うことなく表現しているか c:はがき・封筒、金封・熨斗紙などに対する記入を型通りのものに終わらせず、差出人・贈呈者として印象に残る配慮並びに工夫を行っているか	配付プリント記入状況 振り返りシート	配付プリント記入状況 振り返りシート	観察 配付プリント記入状況 振り返りシート
9・10.・11.月	文字単体の応用	漢字句によるクロスワードパズル制作(８×８の64マス中に２文字10語・３文字3語・4文字5語を収める条件で作成)	a:ルールを理解し、適切な完成品を作ることが出来るか b:１マス１文字の記入が適切にできるか c:複数のパターンを作ることが出来るか	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物

	長文書写	「方丈記」「奥の細道」「平家物語」などの古典文学作品の冒頭一節を様々な書式・サイズの用紙に書写	a:課題となる古典文学作品を暗唱することが出来るか b:用紙サイズに見合った適切な大きさで言葉を書くことが出来るか c:読みやすさを考慮して画数と文字の大きさのバランスをとることが出来るか	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物
11.月	書写の基礎確認	【 小テスト 第2回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a:①～③について、第１回時の得点から向上することが出来たか b:①～③について、採点結果を踏まえ、誤答とケアレスミスの自己分析を行い、第３回に向けての妥評設定を行う c:①～③について、振り返り項目を再読し、この内容について冷静に考察する	採点結果第１回記録と今回返却の振り返りシート	採点結果第1回記録と今回返却の振り返りシート	観察 採点結果第１回記録と今回返却の振り返りシート
11.・12.・1月	学習したことの応用	『貝高フェスタ』配布プログラム表紙原稿の作成 作成後、総選挙実施 第1位作品は原稿に選出 第1位から第3位までの作品を展示・表彰	a:作成するものの条件とその方法について理解できているか b:書くべき内容について誤字や脱字なく書くことが出来るか c:表現方法について毛筆を使ったものであることを理解して工夫できているか	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物
12.月・1月	書写の基礎確認	【 小テスト 第3回 】 ①平仮名筆順 ②片仮名筆順 ③平仮名字源	a:①～③について、第１回、第２回時の得点から向上することが出来たか b:①～③について、採点結果を踏まえ、誤答とケアレスミスの自己分析を行い、卒業後の社会人生活に向けて活用できる内容を振り返る c:①～③について、振り返り項目を再読し、この内容について冷静に考察する	採点結果第１回、第２回の記録と今回返却の振り返りシート	採点結果第１回、第２回の記録と今回返却の振り返りシート	観察 採点結果第1回、第２回の記録と今回返却の振り返りシート
1月	学習内容の確認	4月以降に授業で実施してきたことの再確認 ・知識 ・実技	a:学習した事柄をどの程度保持することが出来ているか b:訂正することを通してどの程度回復することが出来たか c:学習した事柄を日常生活でどう活用するべきかを考察する	振り返りシート 提出物	振り返りシート 提出物	観察 振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度